



令和7年 11月号 園だより

江戸川区立船堀幼稚園

—教育目標—
元気な子ども
明るい子ども
考える子ども
思いやりのある子ども

園長 東 美和

～親子で交通安全を～

園内のキンモクセイの花が咲き、子どもたちが「いい匂いだね」と話す声が聞こえてきたり、園庭のカキの実を子どもたちと収穫したり、園内の自然から秋の深まりを感じます。

先日葛西警察署交通総務係の方が来園し、年少組親子安全教室を行いました。子どもたちは、警察の方から信号の見方や横断歩道の渡り方の話をよく聞いていました。ホールには信号機や横断歩道が設置され、実際に渡ってみる体験をしました。みんな気を付けて渡っている姿が見られました。

以前警察の方から「保護者の皆様にもお話ししたい」という希望があり、今回保護者の方も参加していただきました。保護者の皆様にお話しされた内容は・・・

○自転車に乗る時は、お子さんだけでなくお家の方もヘルメットを着用しましょう。

転倒した時にヘルメットを着用していることで、頭を守ることができます。

○区内で9月末に車とキックボードが衝突し、キックボードに乗っていた子どもが重傷を負う事故がありました。キックボードをはじめとした車輪付き遊具は、道路で使用できません。必ず公園や広場で遊びましょう。

○子どもの目の高さに合わせて、道路の左右確認をしてみましょう。同じ目線になることで気付くこと、危険な場所などが分かります。

そして「お家の方が、交通ルールを再確認してください」と話してくださいました。

私が普段の登園の様子や、徒歩遠足の引率などで見ていて、気になることがいくつかあります。子どもたちは「信号は青になったら渡る」「横断歩道では左右を見る」など交通ルールは分かっています。しかし、実際はどうでしょうか？『自分で信号を見ることなく、周りにつられて歩いてしまう』『左右を見る時ただ首を動かすだけで実際にはあまり見ていない』『道路で友達を見かけると、お家の人の手を放して追いかけてしまう』といった姿がみられます。普段自転車や車で行動しているお子さんは、道路を『歩く』経験も少ないことでしょう。

幼稚園では毎朝、正門から登園します。そのため徒歩通園の方だけではなく、自転車通園でも自転車置き場から正門まで道路を歩きます。お子さんとしっかり手をつないで歩き、秋の自然を感じたり、お子さんとの会話の時間を楽しんだりしながら、道路の安全な歩き方を身に着ける機会にしていきましょう。



星の組
アイ染めの体験



ばら組
親子交通安全教室



星の組
竹馬にチャレンジ